教養学部の三十年

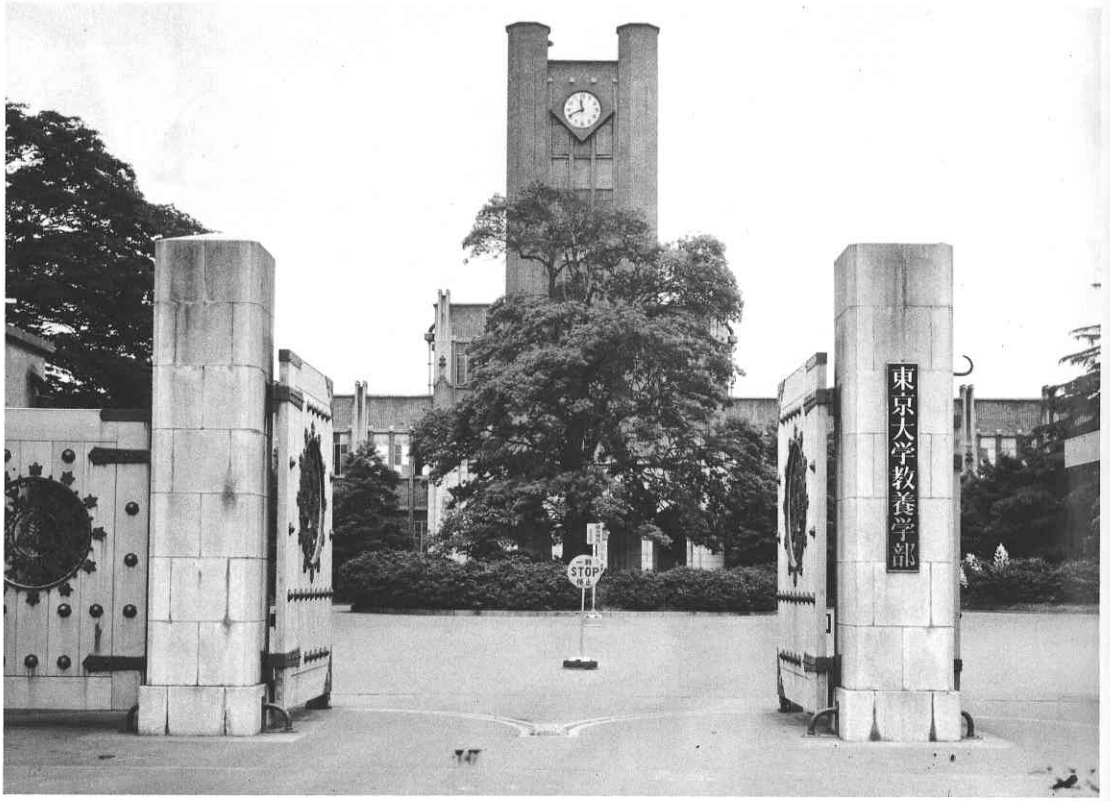
1949–1979

東京大学教養学部

教養学部の三十年

1949−1979

東京大学教養学部



正門から見た時計台（第一本館）

東京大学教養学部の全景（東京大学百年史編集室蔵）

初代教養学部長 矢内原忠雄

昭和 24 (1949) 年 5 月 31 日，東京大学教養学部創立に際して経済学部長から教養学部長に転じ (24 年 9 月までは兼任)，26 年 12 月 14 日総長に就任するまで 2 年 6 ヶ月余にわたって在任し，教養学部の基礎を築いた．

教養学部草創期の教授陣，矢内原総長・麻生学部長を囲んで (昭和 27 〈1952〉 年)

第一高等学校の終焉

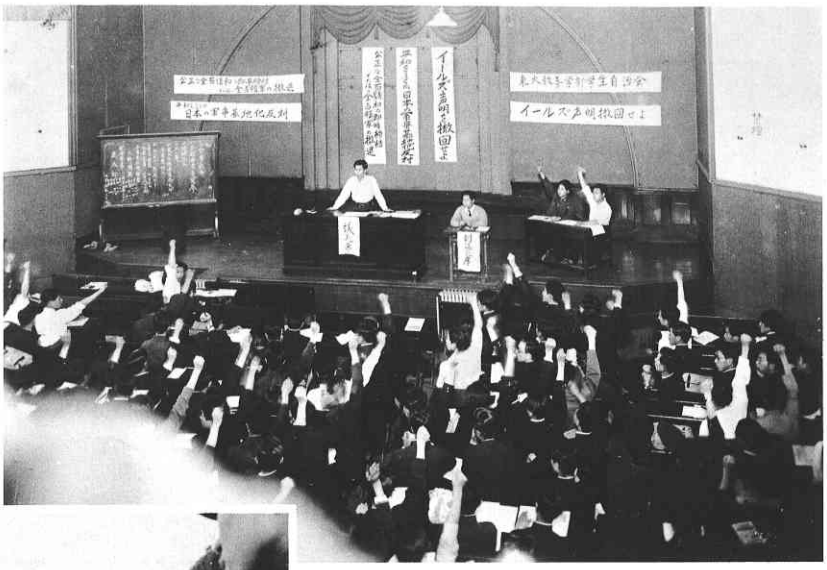
昭和 25 (1950) 年 3 月 24 日，一高最後の卒業生の送別会が図書館閲覧室（現在の教務課のある室）で開かれた．写真は席上挨拶に立った天野貞祐元一高校長．

第一高等学校から東大教養学部へ

昭和 24 (1949) 年 5 月，新制東京大学の発足とともに旧制第一高等学校はこれに包摂され，駒場キャンパスには東大教養学部と一高とが併存したが，昭和 25 年 3 月 31 日，一高は廃校となった．写真は正門に掲げられた一高の門標を取り外す麻生磯次前一高校長とそれを見守る教官・生徒たち（朝日新聞社提供）．

イールズ声明撤回要求の代議員大会

連合国軍総司令部民間情報教育局(CIE)のイールズ顧問によるレッドパージの声明は大学関係者から強い反発を受けた．東大教養学部学生自治会は，昭和25(1950)年5月代議員大会を開き，イールズ声明撤回，全面講和の即時締結，日本の軍事基地化反対などを決議した．

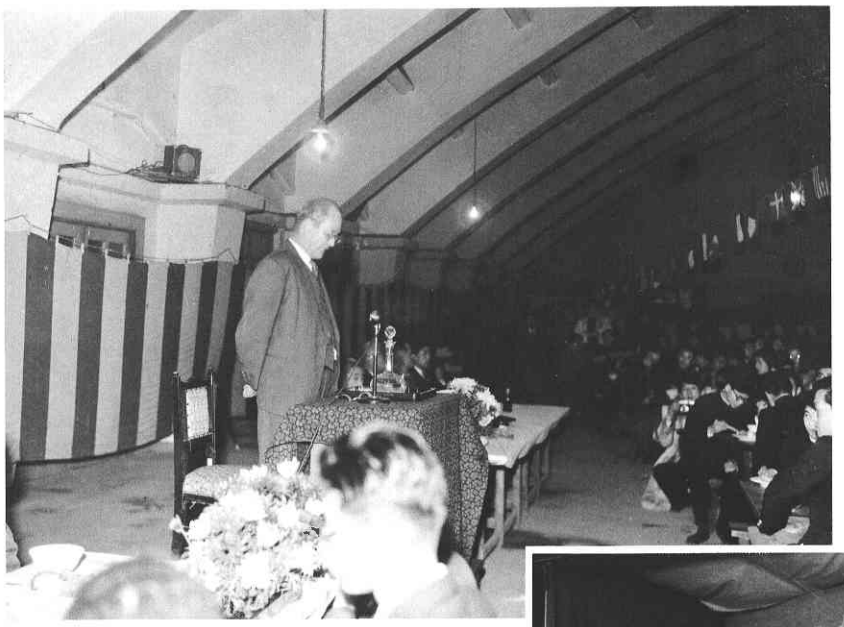


レッドパージ反対試験ボイコット事件

昭和25(1950)年9月29日，東大教養学部学生自治会はレッドパージ反対をかかげて学期末試験ボイコットに突入した．写真は正門前で教職員・学生の入構を阻止してスクラムを組む学生と，これを説得する矢内原学部長．

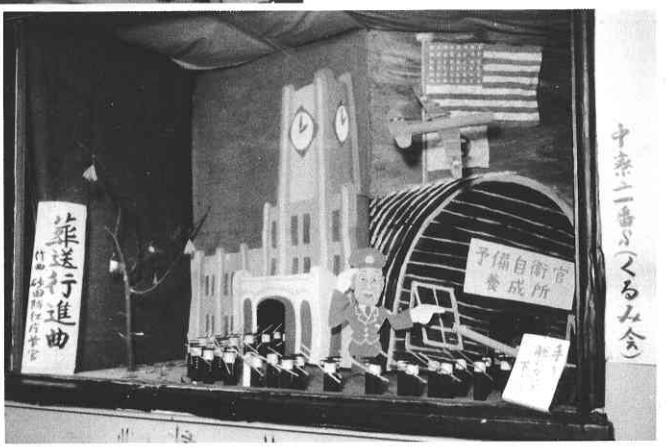
浅間山米軍基地化反対集会

昭和28(1953)年5月，日米合同委員会で妙義山・浅間山地区を米軍演習地に指定する動きが具体化し，東大地震研究所浅間支所(浅間火山観測所)の観測・研究活動に支障が生ずることが予測されたため，地震研究所を中心に，教職員・学生の間に幅広い反対運動がおこった．同年6月16日，教養学部学生自治会による浅間山米軍演習地化反対の集会とデモが行なわれ，約2,000名の教養学部学生がこれに参加した．



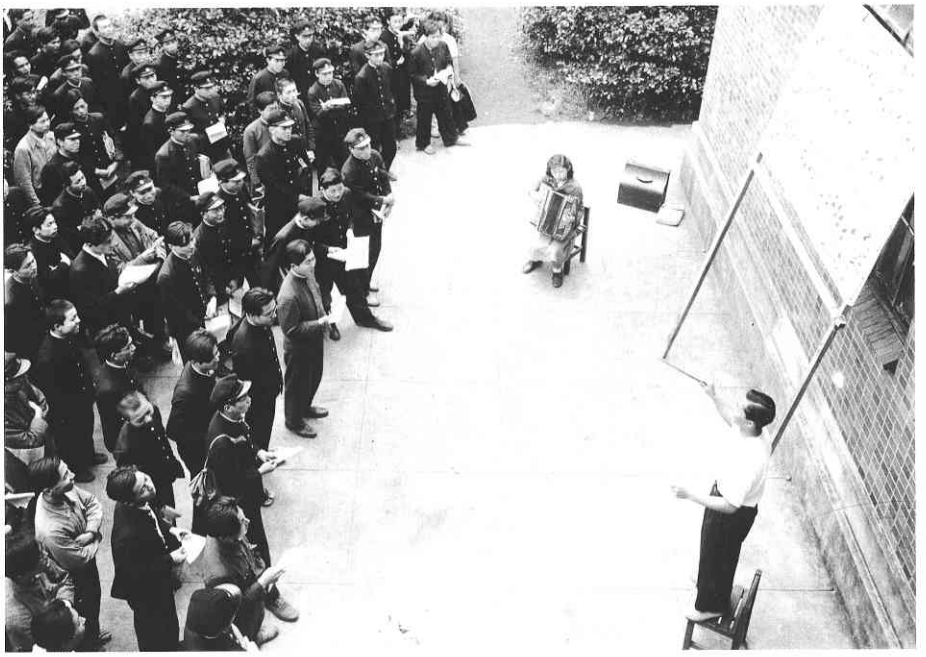
駒場祭晩餐会での総長の講演

駒場祭当日には駒場寮委員会の主催で関係者・先輩を招待し，寮食堂で晩餐会を開くことが恒例となっていた．写真は第6回駒場祭晩餐会（昭和30〈1955〉年）に出席して講演する矢内原総長．



駒場祭の寮デコ

第3回駒場祭（昭和27〈1952〉年）から寮デコが行なわれるようになったが，はじめは政治問題・社会問題をテーマとした諷刺ものが多かった．写真は憲法改正・徴兵制復活が取沙汰されていた当時の第6回駒場祭（昭和30年）寮デコの一つである．



歌声運動

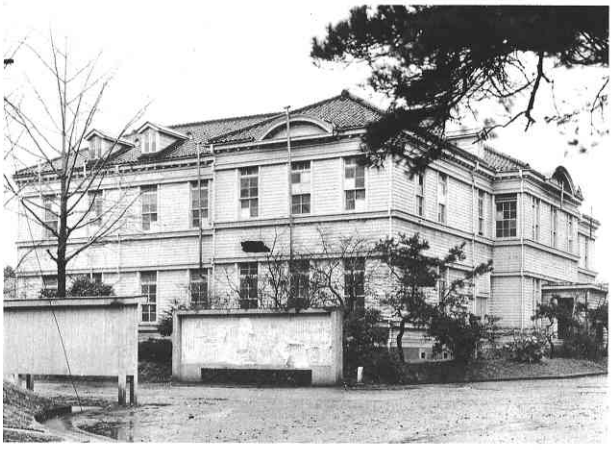
昭和28, 29 (1953, 54) 年ごろには，音感合唱団の指導する歌声運動が盛んで，キャンパス内には昼休みなど連日のように合唱する学生の環が広がった．

教養学部初期の全景

並木道の北側に教養学部発足後急造された木造建築物が幾棟も見られる(昭和 28〈1953〉年 11 月，朝日新聞社提供).

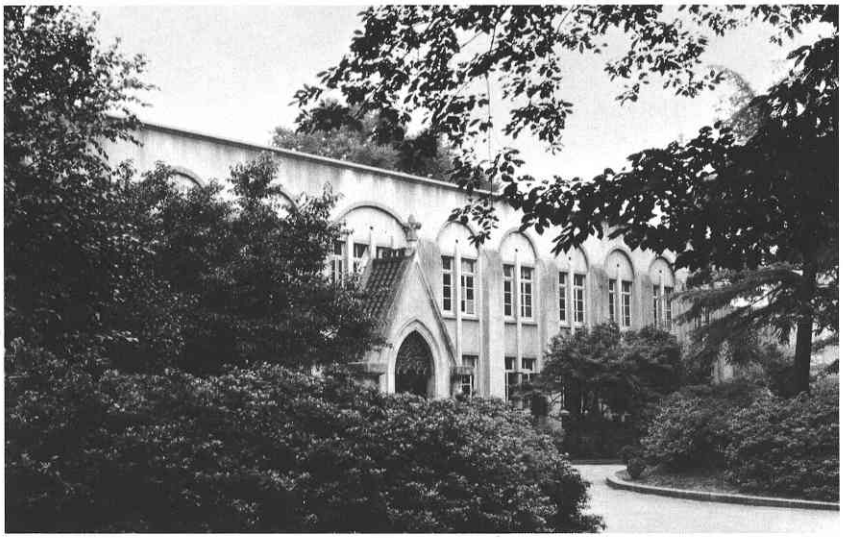
旧図書館

旧制一高以来，昭和 44 (1969) 年新しい図書館が竣工するまで図書館として学生に利用された．現在は，一階は教務課，二階は美術博物館となっている．



旧五号館

東京帝国大学農学部時代に馬学教室として建設され，昭和 10 (1935) 年本郷の第一高等学校が農学部と敷地を交換して駒場に移転してからは，寮務室などとして使われた．東京大空襲にも罹災を免れ，東大教養学部発足後は学生部関係の建物となった．駒場最古の建築物であったが，昭和 46 年，五号館新築のため取り壊された．



一号館

第一本館・旧図書館・900番教室などとともに，旧制一高時代から使われている数少ない建物の一つである．現在は教養学部本部関係の部局に使われている．

四号館

教養学部発足直後の昭和25(1950)年，教養学科の教室として新築された．当初は瀟洒な木造建築物として関係者から感激をもって迎えられたが，今は30年を経てすっかり老朽化した．

900番教室

正門から時計台に向って左，旧図書館と対称的な位置にある．戦前からの建築物の一つで旧制一高時代は倫理講堂と呼ばれ入学式などに使われた．教養学部発足後は九大教室として多人数の講義に使用されたが，昭和35(1960)年4月から900番教室と呼称が変更された．何度かの改装によって内部は全く装いを新たにし，昭和52年にはパイプオルガンが設置され演奏会にも使われている．

学生会館

昭和 31 (1956) 年に始まった学生有志の一円募金運動がきっかけとなり，国費によって昭和 37 年に新築され，38 年第二期工事が完成し開館された．館内にはロビー・サークル部屋・学生食堂などがある．その後 53 年には食堂が大幅に増築され，装いを新たにした．写真は開館直後のもの．

教養学部図書館

昭和 38 (1963) 年から本学先輩を中心とした「東京大学教養学部図書館建設助成会」による募金運動が始められ，昭和 40 年国費による第一期工事分の完成に続いて，募金分による拡張工事が着工された．東大紛争中も工事は休みなく進められ，昭和 44 年全面開館の運びとなった．開架書庫，閲覧室 (668 席)，レファレンス・コーナー，視聴覚ホール，読書会室などを備えている．

駒場寮

昭和初年，旧制一高の学寮として建築された．現在でも教養学部の学生寮として数百名の寮生の生活の場となっている．

序

東京大学教養学部の第一回生の入学式は昭和二四年七月七日に挙行されている。爾来三十年が経過したということで本年の同月同日に記念の催しを行い、またこの間の記録を刊行することになった。

顧ればこの年月の間に教養学部は量的拡大を遂げると共に質的充実を実現してきた。一学年の学生の定員は発足当初には一八〇〇名であったが、現在では三〇六三名になっている。また本学部のもつ専門課程である教養学科にあってはその専攻分野の数がほぼ倍増し、また昭和三七年には自然科学系の専門課程として基礎科学科が付け加えられた。これらの措置に伴って教職員の人員増があったことは言うまでもない。

その一方で本学部における教育研究の質的向上に関しては多大の努力が払われてきており、その成果には見るべきものがある。特に昭和五二年度以来進行中の改善計画により、本学部は名実ともに学部としての実体をもつようになった。

もとより本学部のこのような発展は、我が国における高等教育の拡張の一部として進められたのであり、且つ東京大学全部局の協力の下に実現したものである。しかしながら、本学部の今日があるのは直接的には学部内における先人の努力によるところが大きく、我々はそれに対して深甚な敬意を表する。

思えば三十年の歳月は人間の一世代の長さにおおよそ等しい。このように考えれば、本学部も今や新しい段階に入りつつあるものと言うことが出来よう。事実、本学部の教官の中で自らも教養課程の勉学を経験して居る人

達の比率は近年次第に高まり、今やそれが多数を占めるに至っている。将来、本学部が進むべき方向の発見という責務はこれらの教官によって荷なわれるであろう。そしてその際に、ここに刊行する教養学部三十年の小史がいくらかでも役に立つことがあるならば、これを企画した我々の喜びである。

なお、関係諸記録の整理と本書の編集は東京大学百年史教養学部史編集委員会が担当したが、その実務については鳥海靖、早坂忠両助教授及び本学部事務職員多数の御尽力があった。ここに本学部として深く感謝する。

一九七九年五月

東京大学教養学部長　嘉　治　元　郎

目次

序……嘉治元郎……一

第一部　教養学部の理念と制度

真理探求の精神を——教養学部の生命……矢内原忠雄……三

大学の一般教育——教養学部の意義……玉虫文一……六

教養学科について……木村健康……九

新設「基礎科学科」とは……金原寿郎……一三

東京大学制度の一部更新の問題……茅　誠司……一九

第二部　回　想——教養学部創立前後——……二五

駒場の思い出——草創の頃のこと……矢内原忠雄……二七

歴代学部長座談会——教養学部の回顧と展望……麻生磯次・高木貞二・辻直四郎・川口篤・朱牟田夏雄・相原茂・阿部秋生・前田陽一・青木庄太郎……三一

教養学部の設立をめぐって……朱牟田夏雄……五〇

一高から東大教養学部へ……菊池栄一……七五

教養学部草創期の苦心……青木庄太郎……九四

教養学科設置のいきさつ……前田陽一……一〇五
第三部　教養学部年表……一二七
第四部　参考資料……一五五
一　教養学部規則……一五七
二　教職員一覧……一七〇
（一）教養学部定員表　（一七〇）
（二）歴代学部長　（一七〇）
（三）歴代評議員　（一七一）
（四）名誉教授　（一七一）
（五）元名誉教授　（一七一）
（六）旧教職員　（一七一）
（七）現教職員　（一八四）
三　年度別入学者・卒業者数一覧……一九二
（一）教養学部入学者数　（一九二）
（二）教養学科・基礎科学科卒業者数　（一九四）
四　数字で見る教養学部の現況……一九五
（一）敷地・建物面積　（一九五）
（二）教養学部の建物が現在に至るまでの経過　（一九六）
（三）教職員数　（一九七）
（四）在籍学生数　（一九七）
（五）歳入歳出額最近五カ年の動き　（一九八）

（六）蔵書冊数……（一九九）
（七）学科目・講座等一覧……（一九九）
五　教養学部建物配置図……二〇一
（一）教養学部発足直前……（二〇一）
（二）昭和二七年五月一日現在……（二〇二）
（三）昭和五四年五月一日現在……（二〇三）
（四）東京大学三鷹寮……（二〇四）
編集後記……二〇五